

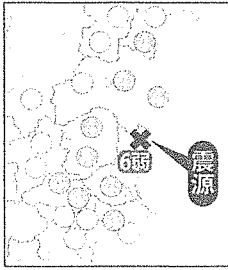
茨城で震度6弱

M6.3 埼玉、千葉など震度4

28日午後9時38分頃、茨城県北部を震源とする地震があり、同県高萩市で震度6弱、同県日立市で震度5強を観測した。

気象庁によると、震源の深さは約10キロ、地震の規模

28日午後9時38分



各地の震度

を示すマグニチュード(M)は6.3と推定される。2011年3月の東日本大震災の余震とみられる。警察庁は災害警備本部を設置し、情報収集を進めているが、28日午後10時現在

各地の主な震度は次の通り。
▽震度6弱 茨城県高萩市▽震度5強 茨城県日立市▽震度5弱 茨城県常陸太田市▽震度4 水戸市、宮城県岩沼市、福島県郡山市、栃木県大田原市、さいたま市、千葉県野田市

人的被害の情報は入っていないという。

原子力規制庁によると、日本原子力発電の東海第二原子力発電所(停止中)や東京電力の福島第一原発(廃炉)、同第二原発(停止中)など、周辺の原子力施設で地震による異常は確認されていない。

東日本大震災の余震 震源深く強い揺れ 今回の地震について、東

京大地震研究所の平田直教授(地震学)は、「東日本大震災以降に活発化した一連の地震活動の一つ」と指摘。「引き続き同程度の強い揺れに襲われる可能性がある」と注意を呼びかけている。

防災科学技術研究所の分析によれば、今回の地震は地盤が両側から引っ張られて断層がずれる正断層型。内陸部の浅い場所で地震が発生しており、東京大地震研究所の瀧澤一也教授は「局所的に強い揺れに見舞われたのではないかと話している。」

官邸対策室を設置

安倍首相は28日夜、茨城県北部を震源とする地震の発生を受け、①被害状況の

早期把握②地方自治体と緊密に連携し、政府一体での災害応急対策③国民への適時的確な情報提供――を関係省庁に指示した。

政府は28日午後9時38分、首相官邸の危機管理センターに官邸対策室を設置。菅官房長官や松本防災相らが官邸に駆けつけ、情報収集などにあたった。